

# インド アンドラプラデーシュ州 プラビリ村 ケースストーリー

FREE THE CHILDREN



**ラガラジャ**  
(36歳 父)

朝起きることが辛い。本当は出稼ぎに行ってお金を稼ぎたいけれど、仕事がないんだ。文字も読めないし、計算もあまりよくわからない。日雇いの道路工事の仕事を探した時も、他に労働者がたくさんいて自分まで回ってこなかった。ストレスで頭がおかしくなりそうで、朝からお酒とたばこでごまかしているんだ。お金もかかっているし、妻や子供には申し訳ないとは思っている。けれど、どうしても止められないんだ。

**シャーミー**  
(29歳 母)



夫とは、5歳頃から結婚することが約束されていました。16歳に結婚して、17歳で長男が生まれました。毎日とても大変ですが、とにかく家族を守らないと。ヤギの乳を市場まで売りに行き、得るお金が毎日の大切な収入です。日によって安く買ったたかれることもあるけれどしょうがないです。来年、子どもが進学する時の教科書や制服を買ってあげられるか不安です。子ども達には幸せになってもらいたいのですが…



**ラクシム**  
(12歳男子)

家族を助けるために、働ける時間は働いているよ。水はいくら汲んできても足りないんだ。1回で頑張っても15Lしか運べないから、みんなですら少なくとも10往復はしないと。綿花を育てているけれど、農薬をまくのが辛いよ。疲れて授業中に眠くなることもあるけど、勉強はとても楽しいよ。友達と一緒に通学する時間はおしゃべりができて本当に楽しい！将来は先生になることが夢だよ。頑張って中学校に行きたいな。

**クリシュナ**  
(9歳女子)



起きて、お母さんのお手伝いをずっとしていっているわ。お母さんは本当に大変そう。家畜の世話は、毎日たくさんお乳を出せるようにおいしい草を食べさせてあげたいんだけど、干ばつの影響で、草がどんどん減っていて…。最近では1時間半歩いて草原に移動しているわ。お兄ちゃんと一緒に水汲みに行くときは楽しい！算数を少し教えててもくれるの。私も本当は学校へ行きたいけれど…村の女の子も働いている子が多いわ。



**ナジャハ**  
(48歳校長)

文字の読み書きや計算ができると、仕事でだまされることも少なくなるし、子ども達には学校に来てもらいたいんだ。楽しく学べるように教材も手作りをしたり頑張っているんだけどね。正直、田舎の先生は給与も低いし、村には娯楽もなく辛いよ。次は都市部に派遣されたいと思うこともあるよ。隣地区の学校の先生はお金に困って生徒に物を売っていると聞いたけど、確かに私も生活は切り詰めているからな…。

※畑作業・水汲み 殺虫剤、虫刺され、重い荷物による負担、熱中症など子どもへの害がたくさんひそんでいる。